

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	生涯スポーツ推進事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	スポーツ推進課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	スポーツ推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		14 スポーツ		1 スポーツ活動の機会を充実します									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	6		目	1		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	スポーツ振興計画														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	生涯スポーツを通して体力づくりや健康保持への市民の意識の高揚を図る。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 第31回シルバーレクリエーションスポーツ大会 小牧市シルバースポーツ協会に加盟している団体並びに老人クラブの会員を中心に高齢者のためのレクリエーションスポーツ大会を10月に開催し、運動不足になりがちな高齢者の健康づくりを図りました。 [参加資格] 市内在住、在勤で概ね60歳以上の方 (種目名) (場所) レクリエーション パークアリーナ小牧 メインアリーナ グラウンドゴルフ 南スポーツセンター グラウンド ゲートボール 駅東コート ディスクゴルフ 市民四季の森 ディスクゴルフ場 プロ野球オープン戦の開催 3月6日に中日ドラゴンズ対埼玉西武ライオンズのプロ野球オープン戦を開催し、3,324人が来場しました。 公認スポーツ指導員養成講座 公認スポーツ指導員、スポーツ推進委員をはじめ、すでに職域・地域などで活躍中のスポーツ指導者・スポーツリーダーの資質向上を図るため、2月15日と2月22日に講座を開催し、36名が受講しました。 <p>◆25年度直接経費の内訳 シルバーレクリエーションスポーツ大会開催委託(518千円)、プロ野球オープン戦開催冠料(5,000千円)、講習会講師謝礼(735千円)、その他、消耗品費・印刷製本費・負担金等(3,319千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 シルバースポーツ大会開催委託(700千円)、プロ野球オープン戦開催冠料(5,000千円)講習会講師謝礼(494千円)、こども夢・チャレンジカップU-12(小牧市長杯)開催負担金(1,300千円)、夢の教室開催委託料(1,384千円)、その他消耗品費等(2,662千円)</p>														
	受益者負担	有 ノルディックウォーク講習会(1人当たり) 250円														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,861	7,699	9,572	11,540	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	8,913	8,751	10,624	12,592		
対前年比	%			98.1	121.4	118.5		
財源	一般財源	千円	8,898	8,733	10,589	12,578		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	15	18	35	14		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	プロ野球オープン戦	回	目標	1	1	1
実績				1	1	1	
公認スポーツ指導員養成講座		回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
プロ野球オープン戦	人	目標	6,400	6,400	6,400	6,400	
		実績	4,858	7,535	3,324		
公認スポーツ指導員養成講座	人	目標	30	30	30	30	
		実績	20	32	36		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	プロ野球オープン戦が平日の開催であったので、入場者数が前年度と比較して半分以下に減少した。公認スポーツ指導員養成講座は、目標の回数・受講者数を実施できた。	
		事業実施における課題	公認スポーツ指導員養成講座は、2月の土曜日に実施しており、受講し易いように配慮しているが、参加者の確保に苦慮している。また、H24年度はプロ野球オープン戦が日曜日の開催であったが、平成25年度は平日の開催であったので、入場者数が大幅に減った。次回は休日に開催するか決まっていない。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	プロ野球オープン戦を楽しみにしている方が多い。また車椅子で直接入れる場所があるため、名古屋ドームまで行けない身体障がい者の方にも大変好評であり、事業を廃止した場合は、プロ野球を球場で見る機会がなくなる。公認スポーツ指導員養成講座は、スポーツ指導員にとって有意義な講習会であり、廃止した場合、指導員としての知識の習得のチャンスが少なくなる。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	プロ野球オープン戦については、中日ドラゴンズと交渉して日曜日の開催ができるようにするとともに、PRに努める。JFAこころのプロジェクト「夢の教室」やこども夢・チャレンジカップ(サッカースクール大会)を開催し、子供向けのスポーツ事業を開催する。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの	
	判定理由	「夢の教室」は全小学校での実施を目指し、中学校にも拡大することで、次代を担う子どもの成長の支援を図るため拡大と判断する。プロ野球の誘致は市民に対して好評であるが、開催冠料が500万円と高額なため、もう少し安い予算で誘致できるようドラゴンズ側と交渉する。公認スポーツ指導員養成講座はスポーツの指導者を目指す方にとって専門知識を取得する講座でもあり、今後も継続する。		
	27年度以降の改善案	子ども向けのスポーツ事業として、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」の拡大やサッカースクール同士の交流事業のあり方を検討する。 引き続き、プロ野球オープン戦については、ドラゴンズと交渉して日曜日の開催ができるようにするとともに、PRに努める。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。